

## 「オスプレイ配備反対」 9.9沖縄県民大会10万人が結集!



「オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会」が9月9日、宜野湾海浜公園多目的広場で午前10時から開催された。集会には県内外から市民・労働組合など10万1千人(主催者発表)が参加し会場を埋め尽くした。大会参加者数は、沖縄返還後県民大会参加者数の最大規模である。

JR総連は全国から、代表者33名で参加。午前8時30分会場に到着した。会場には老若男女を問わず、反対の意思表示(レッドカード)として「赤」色の服や小物を持参し次から次へと押し寄せる人波に改めて、沖縄県民の「基地問題」や「オスプレイ反対」の強い意志を肌で感じた。

会場では10時からオープンクイックイベントが行われ、ミュージシャンたちが歌やメッセージで反戦平和を訴えた。11時から県会議員・沖縄県全41市町村長や代理が出席する中、県民大会が力強い開会宣言ではじまった。大会では共同代表者が次々とあいさつをし、「オスプレイ配備を進める米国や、民意を無視する日本政府が配備を断念するまで頑張りつ」 「頻発する事故は重大だ、住民の頭上を飛行することは認められない」などと訴えた。オスプレイ配備予定の普天間飛行場を抱える宜野湾市長は、「県内配備反対、普天間飛行場の早期返還」を強く要請した。

県民大会の最後に「日米両政府に対して、オスプレイ配備の撤回と普天間飛行場の閉鎖・撤去を要請する決議」を参加者全員で採択し終了した。

JR総連は、平和な社会の実現をめざし、全国の仲間とともに取り組んでいく。

## ビルマ民主化のために闘う労働者・市民と連帯 「8888」行動日集会・デモに参加



が1988年8月8日、軍によって弾圧されたことを忘れることなく、民主化を実現するために毎年開催されている。集会ではビルマの現政権に対し、政治犯の釈放や公平な憲法と法律の制定、少数民族への弾圧をやめることを訴え、日本政府にもビルマの現政権に対して毅然とした対応を求めよう求めた。

昨年まで毎年この抗議行動に共に参加していたビルマ海員組合日本代表のマウン・マウン・ウー氏は、今年7月10日、24年ぶりに念願であった母国ビルマへの帰国を果たした。そして現在、様々な困難の中、ビルマ国内で民主化運動や労働組合の結成のために奔走している。

JR総連は7月20日・25日、武井委員長と山田国際部長をビルマへ派遣し、マウン氏をはじめとする労働組合結成を目指す労働者や、アウン・サン・スー・チー氏率いる国民民主連盟(NLD)幹部と面会するなど、連帯と支援の取り組みも行った。

JR総連はこれからもビルマ情勢を注視し、ビルマ民主化のためにたまたか仲間との連帯を強化していく。

ビルマ(ミャンマー)の民主化を求める「8888行動日」の集会とデモが8月8日、在日ビルマ人有志により開催され、JR総連から代表が参加した。

この行動日は、ビルマで民主化運動をしていた学生や市民によって弾圧されたことを忘れることなく、民主化を実現するために毎年開催されている。集会ではビルマの現政権に対し、政治犯の釈放や公平な憲法と法律の制定、少数民族への弾圧をやめることを訴え、日本政府にもビルマの現政権に対して毅然とした対応を求めよう求めた。



日本と韓国の鉄道労働者が時々の課題について討論する日韓労組リーダー討論会が9月3日、宮城県松島で開催され、日韓の鉄道、地下鉄の労組など12組織の代表21名が参加した。

9回目の討論会となった今年のテーマは「安全と労働組合の対応」。鉄道の安全を守るための日韓での闘いの現状、成果、課題を出し合い議論した。

日本からは「責任追及から原因究明へ」の安全哲学をもとに、JR北海道労組、JR東労組、JR西労から関する報告、韓国からはストレス等による運転士の相次ぐ自殺、職場への競争原理導入により、安全より運行が優先され、事故が多発していることなどが報告された。

さらにJR東労組仙台地本皆本書記長が、東日本大震災の被災、復興の取り組み、職場の状況について報告した。討論のまとめでJR東労組吉川書記長は、日韓の経営側の事故への対応が類似していることに注目し、処分や教育のあり方を検証していくことを提案した。また、今年12月に開催される国際労働者交流センター(ICLS)ニュージールランドフォーラムでの議論を両国でリードしていくことを確認した。

JR総連は今後も韓国の鉄道労働者との議論を継続し、日韓労働運動の発展を目指していく。

第9回日韓労組リーダー討論会

日本と韓国の鉄道労働者が時々の課題について討論する日韓労組リーダー討論会が9月3日、宮城県松島で開催され、日韓の鉄道、地下鉄の労組など12組織の代表21名が参加した。

9回目の討論会となった今年のテーマは「安全と労働組合の対応」。鉄道の安全を守るための日韓での闘いの現状、成果、課題を出し合い議論した。

日本からは「責任追及から原因究明へ」の安全哲学をもとに、JR北海道労組、JR東労組、JR西労から関する報告、韓国からはストレス等による運転士の相次ぐ自殺、職場への競争原理導入により、安全より運行が優先され、事故が多発していることなどが報告された。

さらにJR東労組仙台地本皆本書記長が、東日本大震災の被災、復興の取り組み、職場の状況について報告した。討論のまとめでJR東労組吉川書記長は、日韓の経営側の事故への対応が類似していることに注目し、処分や教育のあり方を検証していくことを提案した。また、今年12月に開催される国際労働者交流センター(ICLS)ニュージールランドフォーラムでの議論を両国でリードしていくことを確認した。

JR総連は今後も韓国の鉄道労働者との議論を継続し、日韓労働運動の発展を目指していく。

## 政府の施策に注目しよう! JR総連トシテパブリックコメントを提出

今国会ではJR総連や労働界が要求した様々な法案や事柄が審議された。その中には派遣法の改定のように、当初求めていたものと内容が違ってしまったものや、ツアーバスをめぐる取り扱いのように、不十分なものもあった。

このため、JR総連としてはその動きに注視し、必要なものについては直接意見を伝える運動を強めた。その一つの取り組みとして、労働者派遣法の政省令案改正に対する意見募集(パブリックコメント)と、道路運送法施行規則改正に対する意見募集に対して、それぞれ組織としての意見を提出した。また、今後のエネルギー政策のあり方に対してもパブリックコメントを提出すると同時に、組合員にも積極的に呼びかけた。

エネルギー政策に関するパブリックコメントは全体で8万8千件集まった。一方、派遣法に対しては86件の意見しかなく、労働界全体の姿勢が問われる結果となっている。



## いざ!という時、大丈夫ですか? あなたの保険

- 《取扱商品》
- ▲自動車保険・組合主催行事保険・ゴルフ保険
  - ▲がん保険・医療保険
  - ▲JR積立年金
  - ▲組合旗・組合バッチ・ゼッケン
  - ▲健康食品・自然食品・お茶・みかん



JR総連・各JR労組賛助団体  
**(株)鉄道ファミリー**

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13  
TEL03(3490)3862 JR(058)4114・5

JR総連議員団会議は8月21日、「第22回全国会議」を参議院議員会館で開催し、2012年度の活動方針、新役員などを決定した。

高橋美奈雄団長(高崎市議)は冒頭「参議院議員会館の会場で開催できることは組織内に国会議員を誕生させたことの大きな成果であり、大変意義深いものだ」と述べ、①消費税増税を柱とした「社会保障と税の一体改革関連法」②東日本大震災と原発事故の関係③美世志会の上告棄却④公共交通のあり方⑤混迷を極めている政治状況について5つの課題を提起した。

来賓としてJR総連・武井委員長、美世志会・山田知氏があいさつをし、えん罪・JR浦和電車区事件への支援などを述べた。

2日目の意見交換会には、新党大地・浅野貴博代議士、田城郁参議院議員も参加し、JR総連の精神である「平和、人

JR総連議員団会議は8月21日、「第22回全国会議」を参議院議員会館で開催し、2012年度の活動方針、新役員などを決定した。

高橋美奈雄団長(高崎市議)は冒頭「参議院議員会館の会場で開催できることは組織内に国会議員を誕生させたことの大きな成果であり、大変意義深いものだ」と述べ、①消費税増税を柱とした「社会保障と税の一体改革関連法」②東日本大震災と原発事故の関係③美世志会の上告棄却④公共交通のあり方⑤混迷を極めている政治状況について5つの課題を提起した。

来賓としてJR総連・武井委員長、美世志会・山田知氏があいさつをし、えん罪・JR浦和電車区事件への支援などを述べた。

2日目の意見交換会には、新党大地・浅野貴博代議士、田城郁参議院議員も参加し、JR総連の精神である「平和、人

役職名	氏名	議会名	単組名
顧問	松本敏雄	(元さいたま市議会)	JR東労組
団長	高橋美奈雄	高崎市議会	JR東労組
副団長	田城 郁	参議院議員	
	日角邦夫	函館市議会	JR北海道労組
	岩瀬義信	勝浦市議会	JR東労組
	楠 達男	関ヶ原町議会	JR東海労組
	宮川 寿	盛岡市議会	JR東労組
幹事長	羽田房男	福島市議会	JR東労組
幹事	小笠原直治	安平町議会	JR北海道労組
	秋村光男	青森市議会	JR東労組
	小林義直	長野市議会	JR東労組
	柳沢浩之	安中市議会	JR東労組
	矢田松夫	山陽小野田市議会	JR西労

権、環境、民主主義」を基軸に幅広い議員団の活動を展開することが全体で確認された。



## 道交法違反 変わらぬツアーバスの実態 高速ツアーバスの実態調査を実施!



JR総連はJR東労組バス関東本部とともに8月20日、国土交通省が設けた高速ツアーバスの「今夏の過労運転防止に係わる緊急対策」について実態を調査した。

実態調査には、30名の組合員が参加。事前学習のあとJR東京駅・新宿駅周辺の2カ所、高速バス表示ガイドラインにもとづく「車両における表示」「交替運転者の適正な配置」等について54両の高速ツアーバスを調査し、いまだ適正な表示がされていない車両があることを確認

した。また、バスの駐車位置、および駐車時間などで道路交通法違反が繰り返されている現実も把握することができた。調査結果として、国土交通省の緊急対策や法令遵守が高速ツアーバスに徹底されていないことがうきほりになった。

JR総連は、バス業界全体の安全意識の向上と安全性を確保のために、行政による指導・監督の徹底を再度要請する。そして、安全で働きやすいバス会社をつくるため奮闘していく。

## 聚楽労組 夏季手当交渉母結

JR総連加盟の聚楽労組は、2012年夏季手当をめぐる粘り強い交渉の結果、8月21日、23000円を勝ちとり、交渉を妥結した。これは10年、11年の結果を大幅に上回る成果である。

違法な場所で乗車が行われている





JR総連小室共闘部長のインタビュー記事が琉球新報9月10日に掲載

### 9・9県民大会決議

我々は、本日、日米両政府による垂直離着陸輸送機MV22オスプレイ強行配備に対し、怒りを込めて抗議し、その撤回を求めるためにここに集まった。

沖縄県民は、米軍基地の存在ゆえに幾多の基地被害をこうむり、1972年の復帰後だけでも、米軍人等の刑法犯罪件数が6,000件近くに上るなど、米軍による事件・事故、騒音被害も後を絶たない状況である。

1995年9月に、米海兵隊員3人による少女暴行事件が起こり、同年10月には事件に抗議する県民総決起大会が行われ、8万5千人もの県民が参加し、米軍に対する怒りと抗議の声を上げた。県民の強い抗議の声に押され、日米両政府は、1996年の日米特別行動委員会(SACO)により米軍普天間基地の全面返還の合意を行った。

しかし、合意から16年たった今日なお、米軍普天間基地は市街地の真ん中に居座り続け、県民の生命・財産を脅かしている。

そのような中、日米両政府は、この危険な米軍普天間基地に「構造的欠陥機」であるオスプレイを配備すると通告し、既に山口県岩国基地に陸揚げがなされている。さらに、オスプレイは米軍普天間基地のみでなく、嘉手納基地や北部訓練場など、沖縄全域で訓練と運用を実施することが明らかとなっており、騒音や墜落などの危険により、県民の不安と怒りはかつてないほど高まっている。

オスプレイは開発段階から事故をくり返し、多数に上る死者を出し、今年に入ってからもモロッコやフロリダ州で墜落事故を起こしている構造的欠陥機であることは、専門家も指摘しているところであり、安全性が確認できないオスプレイ配備は、到底容認できるものではない。

沖縄県民はこれ以上の基地負担を断固として拒否する。そして県民の声を政府が無視するのであれば、我々は、基地反対の県民の総意をまとめ上げていくことを表明するものである。

日米両政府は、我々県民のオスプレイ配備反対の不退転の決意を真摯に受け止め、オスプレイ配備計画を直ちに撤回し、同時に米軍普天間基地を閉鎖・撤去するよう強く要求する。

以上、決議する。

2012年9月9日  
オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会

### 東京で様子伝える



小室敏之さん(50)＝東京都、会社員 県外での訓練飛行を含め配備が本当に必要なのか、全国の問題として捉える必要がある。県外の人々が自分の問題と考えることで、状況を変えることにつながる。地元に戻って職場などで大会の様子を伝えたい。

### 「オスプレイ配備反対」の声で国会を取り囲む

沖縄県民大会に連帯する取り組みは各地でも行われた。東京では「9・9沖縄県民大会と同時アクション「国会包囲」」の呼びかけで、県民大会と同時に国会を取り囲む行動が行われた。

11時から国会の正門前では、実行委員の人たちが沖縄に連帯し、オスプレイ配備反対を訴えた。中には小学生からの訴えもあり、オスプレイの危険性をあらためて実感した。

山口県岩国市では、台風のため沖縄で延期になった8月5日、9月9日の2度にわたって沖縄大会に連帯する集会が開催された。

「9・9沖縄連帯 艦載機もオスプレイもいらない!岩国集会」が9月9日に開催され、岩国市議会議員・市民など300名が集結し、JR総連中国地協からも174名が参加した。集会後、オスプレイの見える旭町の堤防道路までデモ行進をして、基地に向けシュプレヒコールを行い、決意と連帯の意志を示した。



### 沖縄県民大会と連帯する 「オスプレイ撤入・配備反対!」岩国集会

「8・5沖縄県民大会と連帯する会」が主催する「8・5沖縄県民大会と連帯する「オスプレイ撤入・配備反対!」岩国集会」が8月5日に岩国市福祉会館で開催され、JR総連中国地協、9条連・市民ら200名を超える参加者が集まった。

集会は、7月22〜23日の「オスプレイ撤入阻止闘争」を撮影したオープンニングビデオではじまり、連帯する会の田村会長からの力強い挨拶につづいて、JR西労議員団・田村順玄岩国市議会議員、岩国爆音訴訟・藤川事務局長、愛宕山を守る会・岡村代表、JR総連・萩原副委員長から連帯の挨拶を受けた。さらに9条連やまぐち・稲尾代表とJR西労岩国分会から力強い決意を受けた。



### すべての核の廃絶を! 広島・長崎平和行動に参加

今年もヒロシマ・ナガサキの日、そして敗戦の日を迎えた。JR総連は、連合の「2012平和行動」に広島・長崎の行動を中心に、中国地協と九州地協が平和の取り組みを行った。

核兵器廃絶2012平和ナガサキ大会への参加や慰霊碑を巡り、岡まさはる記念平和資料館を見学し、維持継続のためのカンパを行った。参加者たちは核の惨禍をあらためて目の当たりにし、今後も平和活動を継続することを誓い合った。

今年もヒロシマ・ナガサキの日、そして敗戦の日を迎えた。JR総連は、連合の「2012平和行動」に広島・長崎の行動を中心に、中国地協と九州地協が平和の取り組みを行った。



長崎では独自の学習活動も工夫した

また、7日から9日の長崎での行動には九州地協から組合員と家族、OB、九州9条連会員などが参加し、19名で朝鮮人犠牲者慰霊碑への献花と折鶴を持



広島平和行動には組合員の家族も参加した



長崎では独自の学習活動も工夫した

### 脱原発の意志を 響かせよう!

首相官邸周辺には毎週金曜日の夕方、脱原発の意志を表明するために多くの市民が集まっている。最初は少数で行われていたこの抗議行動は、大飯原発の再稼働の前後から爆発的に増加し、10万人を超える人々が、思い思いの姿と主張を携えて、国会に集まっている。

この「金曜デモ」に呼応するかたちで、全国の様々な場所で行われてきた。脱原発の意志を持つ仲間たちと、怒りの声を上げよう!



### JR総連第7回「脱原発」学習会

講演:「電気は誰がつくるのか 再生可能エネルギーへの転換は可能か」

講師:連合通信記者 山本 航 氏

日時:2012年10月9日(火) 14時~17時

会場:参議院議員会館 地下1階B107会議室

組合員の参加をお待ちしています!



撮影 広河隆一(DAYS JAPAN編集長)